

**第1問** 世界史上、民族や宗教の異なる人々の共存の枠組みが崩れて紛争に至る事例が各地で見られた。その一方で、紛争から共存への道を模索する努力もなされてきた。紛争と共存について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問1～11)に答えよ。(配点 27)

A 万里の長城は、おおよそ北緯 40 度の線に沿って築かれた。長城の南側においては農耕民の世界が発展し、北側の乾燥草原地帯(モンゴル高原)や森林地帯(中国東北部)には、遊牧民や狩猟民の世界が広がっていた。①これら南北二つの世界は古くから交易を行い、共存の関係にあったが、時には激しい紛争が引き起こされた。北側の世界から興った王朝が南北を統一した例として、②清がある。現在の中華人民共和国は、圧倒的多数の漢民族を中心に多民族国家として存在しているが、それは、③最後の王朝、清の領域を基本的に継承した結果と見ることもできる。

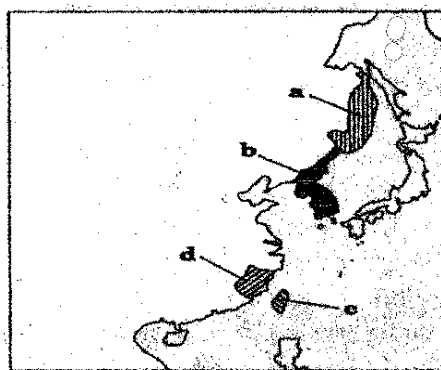
問1 下線部①に関して、これら二つの世界の共存と紛争について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 漢は、武帝の治世下で、遊牧民の侵入を防ぐため、節度使を設置した。
- ② 北魏は、漢民族の文化を排除し、農耕社会の統治に消極的であった。
- ③ 唐は、遼と西夏に銀や絹などを毎年贈り、和平に努めた。
- ④ 明は、永楽帝の治世下で、モンゴル高原に出兵した。

問2 下線部②の王朝が諸民族に対して行った政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 満洲(州)族の風俗を漢民族風に改める政策を推進した。
- ② チベットを藩部として、理藩院の管轄下においた。
- ③ 学問を保護して、漢民族の反清思想に対しても寛大であった。
- ④ 明の官僚制度を廃止し、中央の要職には漢民族を採用しなかった。

問3 下線部③に関連して、次の地図に示した地域 a～d について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。



- ① 清は、北京条約によって、ロシアに a を割譲した。
- ② 清は、下関条約によって、b が独立国であることを確認した。

- ③ 清は，康熙帝の治世下で，c を領有した。
- ④ 清は，19 世紀末，d をイギリスの勢力圏とすることを認めた。

B ユダヤ教，キリスト教，イスラム教の三宗教は，現在中東と呼ばれる地域で誕生し，イスラム勢力の支配下で長らく共存していた。こうした共存は ④パレスティナ においても見られた。しかし，19 世紀後半以降，ヨーロッパにおいてユダヤ人迫害が激化する中で，パレスティナにユダヤ人国家を建設しようとする運動が起こると，共存は崩壊へと向かう。第一次世界大戦勃発後，イギリスは中東支配の思わくから，パレスティナに関して ⑤アラブ人とユダヤ人の双方に相反する約束をした。このため大戦後，当地へのユダヤ人流入が激増すると，住民であったアラブ系の人々との対立が深まり，⑥パレスティナ問題が生じた。その後，イスラエルの建国や度重なる中東戦争によって，大量の⑦難民が発生した。

問 4 下線部④の地域に関して述べた文として正しいものを，次の ①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① ローマの支配下にあったこの地域で，モーセは既存のユダヤ教を批判した。
- ② ウマイヤ朝は，イエルサレムに首都を定めた。
- ③ キリスト教徒は，イエルサレムを聖地とし，岩のドームを建設した。
- ④ 正統カリフ時代に，イエルサレムはイスラム勢力の支配下に入った。

問 5 次の文は，下線部⑤の約束について述べたものである。空欄 a と b に入れる語の組合せとして正しいものを，次の ①～④のうちから一つ選べ。

5

イギリスは，アラブ人側に a で独立を約束する一方で，ユダヤ人側に対しては b でパレスティナに「民族的郷土」を建設することを認め，さらにフランス・ロシアとはアラブ地域を分割する密約を結んでいた。

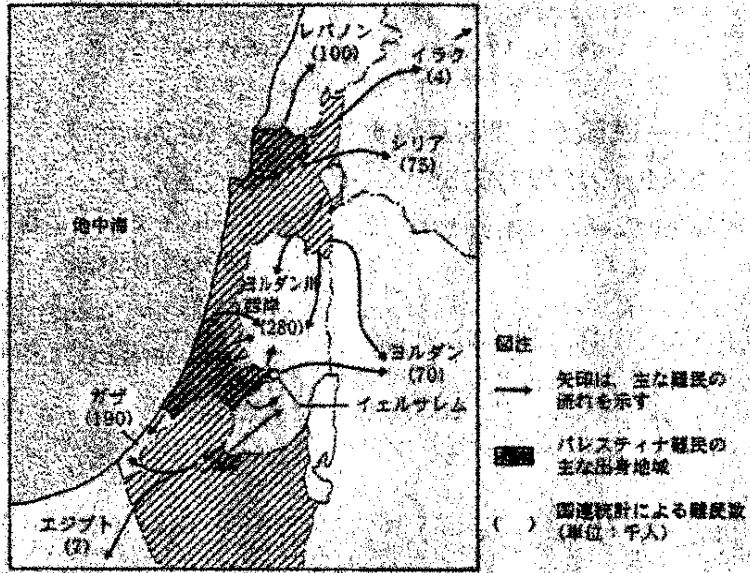
- ① a フサイン＝マクマホン協定      b パルフォア宣言
- ② a サイクス＝ピコ協定            b パルフォア宣言
- ③ a パルフォア宣言                  b フサイン＝マクマホン協定
- ④ a フサイン＝マクマホン協定      b サイクス＝ピコ協定

問 6 下線部⑥について述べた文として誤っているものを，次の ①～④のうちから一つ選べ。

6

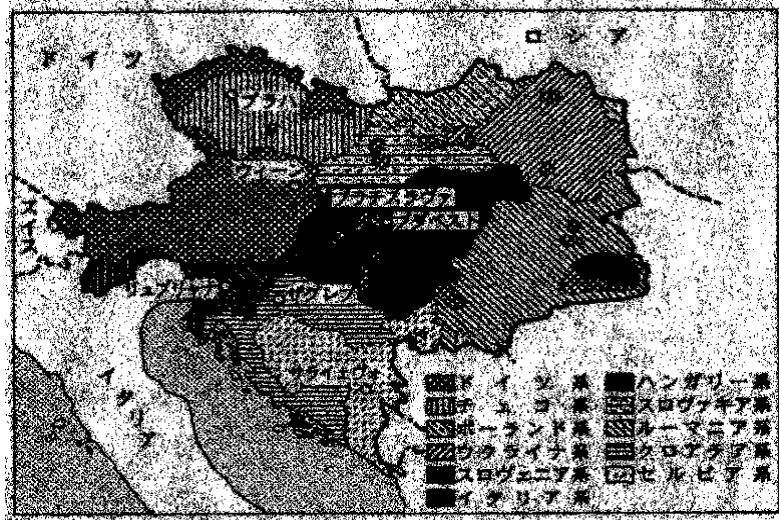
- ① 国際連合は，パレスティナを分割する案を採択した。
- ② パレスティナ国家の建設を目指して，パレスティナ解放機構（PLO）が活動した。
- ③ ナセル大統領の下で，エジプトはイスラエルと平和条約を結んだ。
- ④ パレスティナ解放機構（PLO）とイスラエルは，パレスティナ暫定自治協定に調印した。

問7 下線部⑦の原因となった数次の中東戦争のうち、次の図のような難民が発生することになった戦争について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。ただし斜線部はこの戦争直後のイスラエルの支配地域を示す。 7



- ① この戦争の最中に、アラブ産油国は石油戦略を発動した。
- ② スエズ運河の国有化を宣言したエジプトに対し、アメリカ合衆国がイスラエルとともに侵攻した。
- ③ ユダヤ人は、パレスティナに建国し、反対するアラブ諸国と戦争になった。
- ④ イスラエルは、アラブ諸国を先制攻撃し、シナイ半島やシリア、ヨルダンの一部を占領した。
- C 多民族国家においては、諸民族の共存を図るための一つ的手段として、連邦制という国家形態が考慮されることがある。例えば、19世紀末、オーストリア社会民主党は、その「ブリュン綱領」において、⑧オーストリア＝ハンガリー帝国のライタ川以西にあたるオーストリアを、諸民族の民主的な連邦国家に改組すべきことをうたっている。民族共存の手段としての連邦制については、⑨ユーゴスラヴィア、チェコスロヴァキアなど、かつて、⑩社会主義国であった連邦国家が、20世紀末に崩壊したことにより、その有効性に疑問が生じた、しかし、⑪ベルギーのように、1970年代から分権化を徐々に進め、1993年の憲法改正で、連邦国家であることを憲法に明示した国もある。

問8 次の地図は、下線部⑧の国の第一次世界大戦前における、各地域で最も人口が多い民族を示した民族分布図である。この地図に基づき、第一次世界大戦後の各国の領土について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8



- ① チェコ系住民が分布している地域はすべて、チェコスロヴァキア領となった。
- ② スロヴェニア系住民が分布している地域はすべて、イタリア領となった。
- ③ ドイツ系住民が分布している地域はすべて、オーストリア領となった。
- ④ ハンガリー系住民が分布している地域はすべて、ハンガリー領となった。

問 9 下線部⑨に関して、かつてユーゴスラヴィアを構成した地域の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① ボスニア＝ヘルツェゴヴィナは、ベルリン会議（1878年）の結果、オーストリア＝ハンガリー帝国から独立した。
- ② 第一次世界大戦のきっかけとなったサラエヴォ事件が起こった。
- ③ 社会主義政権末期、チャウシェスクの独裁体制がしかれていた。
- ④ セルビア共和国が独立を宣言すると、内戦が始まった。

問 10 下線部⑩について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 第二次世界大戦中、ソ連は、コミンフォルムにより、西欧諸国に社会主義革命を普及させようとした。
- ② モンゴル人民共和国が、1950年代初めに成立した。
- ③ 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国によるベルリン封鎖をきっかけに、ドイツ民主共和国が成立した。
- ④ キューバ革命の結果成立したカストロ政権は、1960年代初めに社会主義を宣言した。

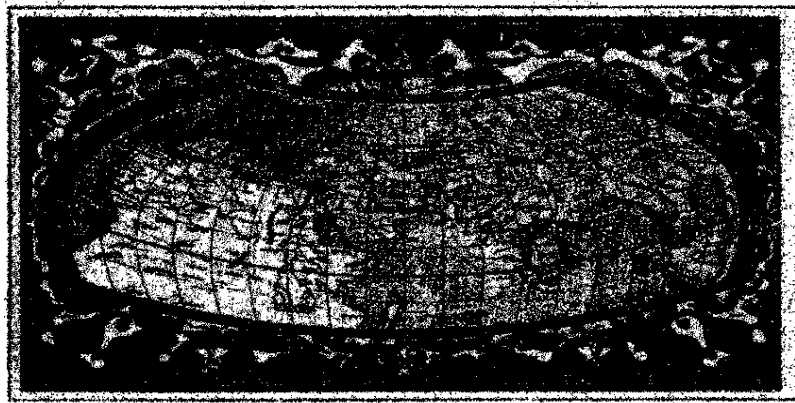
問 11 下線部⑪の国について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

- a 第一次世界大戦の際、同盟国側の軍隊が侵入した。
- b 第二次世界大戦の際、枢軸国側の軍隊が侵入した。

- ① a 正 b 正                      ② a 正 b 誤  
 ③ a 誤 b 正                      ④ a 誤 b 誤

**第2問** 地図は、それが作られた当時の人々の活動範囲や世界観をよく反映している。地図の作製やその時代背景に関して述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点25)

A 古代ギリシア・ローマでは、できる限り正確な世界地図を作ろうとする試みがなされた。下図は、2世ごろ活躍したアレクサンドリア出身の [ ] に由来するとされる地図である。中世に入ると、 [ ] の地図は忘れ去られ、キリスト教の世界観を投影した「世界図」が作られるようになった。しかし、13世紀になるとイタリアでは、商業の発達に伴い、実用的な地図が作製されるようになる。その後 ②ルネサンス期に [ ] の地図が再発見され、それが印刷技術によって普及したこと、そして ③大航海時代が到来したことなどによって、ヨーロッパにおいて正確な地図を作る本格的な試みが始まった。



問1 [ ] の人物は、天動説を体系化して、後のヨーロッパの天文学に大きな影響を与えたことで知られている。この人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [ 12 ]

- ① プルタルコス  
 ② プトレマイオス  
 ③ エウクレイデス  
 ④ ピタゴラス

問2 下線部②について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [ 13 ]

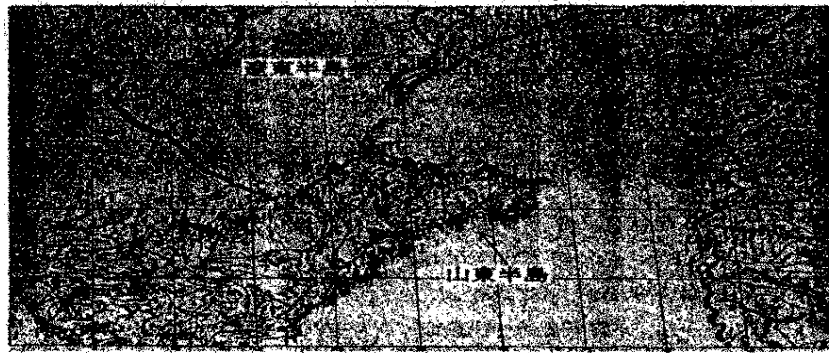
- ① ヴェネツィアのメディチ家は、ルネサンス文化を保護したことで知られている。  
 ② ボッカチオは、ルネサンスの代表的な画家の一人である。  
 ③ 『ドン＝キホーテ』を著したセルバンテスは、スペインにおけるルネサンスの代表的な文学者の一人である。  
 ④ ラブレーは『愚神礼讃』で教会や聖職者の腐敗を風刺した。

問3 下線部③について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① マガリャンイス(マゼラン)はポルトガル王の命を受けて大西洋を南下した。
- ② トスカネリの地球球体説は、コロンブスの航海に影響を与えた。
- ③ ポルトガルの王子エンリケは、アフリカ西海岸の探検を行わせた。
- ④ コロンブスは、スペイン女王イザベルの援助を得ていた。

B ④ 明清時代の中国には、多くのイエズス会宣教師が来航したが、彼らの作製した地図は、その後の中国における地理学の発達に大きな影響を与えた。18世紀には、⑤ 康熙帝の命を受けた宣教師が中心となって、清の版図やその隣接地域を含む多くの部分図を作製し、それらを一幅の地図にまとめて皇帝に献上した。この地図は、康熙帝によって⑥ 『皇輿全覽図』と命名され、雍正帝や乾隆帝の時代には、これを基礎とする地図が作製された。下図は、20世紀前半に、残されていた地図の銅版を基に、新たに刊行された『皇輿全覽図』の部分図である。



問4 下線部④に関連して、明清時代の学術や文化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① 永楽帝は、儒教經典の国定注釈書である『四庫全書』を編纂させた。
- ② 顧炎武は、錢大昕の唱えた学説を発展させ、考証学として確立させた。
- ③ 明代には、産業技術や薬学などに関する実用書や技術書が著された。
- ④ 明代には、小説『紅樓夢』が書かれた。

問5 下線部⑤の皇帝の治世下起こった事柄として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① 軍機処が設置され、政治の最高機関となった。
- ② 清が北京を占領し、その首都とした。
- ③ アマーストが、イギリスの使節として清に派遣された。
- ④ イエズス会以外の宣教師による布教が禁止された。

問6 下線部⑥の地図について述べた文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

a 実測に基づいて作製された地図である。

b アフリカ大陸やアメリカ大陸を含む世界全図である。

- ① a 正 b 正                      ② a 正 b 誤  
③ a 誤 b 正                      ④ a 誤 b 誤

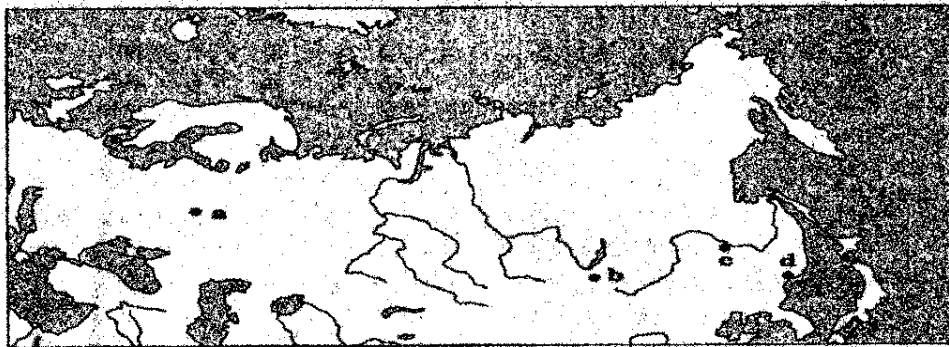
問7 地図中に示されている山東半島の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 戦国時代の趙は、この半島を自国の領土とした。  
② 漢の武帝は前2世紀に、この半島に楽浪郡を置いた。  
③ 遼は10世紀に、この半島にある燕雲十六州を領有した。  
④ ドイツは19世紀末に、この半島の膠州湾を租借した。

C 地図は、国家の版図の変化につれて改定されてきた。ロシアでは、シベリア征服の後、新たな地理上の知見が地図に記されていった。その後ロシアは、⑦黒龍江（アムール川）岸や太平洋岸に進出する一方、⑧中央アジアを侵略した。こうしてロシアは大帝国に成長した。ロシア帝国の崩壊の後、1922年に結成された⑨ソ連は、社会主義体制の下で旧ロシア帝国の版図の大部分を再統合していった。その領域は、世界の陸地の6分の1弱を占めた。しかし、1991年のソ連解体に伴い、旧ソ連の領域には多くの独立国が成立し、大幅な地図の書き換えが行われた。

問8 下線部⑦に関連して、次の地図中に記された場所a～dのうち、19世紀後半にロシアと清の間で結ばれた条約の名称に、その地名が用いられて場所として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① a                      ② b                      ③ c                      ④ d



問9 下線部⑧に関連して、19世紀後半のロシアの中央アジア侵略について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国境をめぐるサファヴィー朝と戦い、領土を獲得した。  
② キプチャク＝ハン国を併合した。

- ③ ブハラ（ボハラ）・ヒヴァ・コーカンドの3ハン国を支配下に置いた。
- ④ イル＝ハン国を滅ぼした。

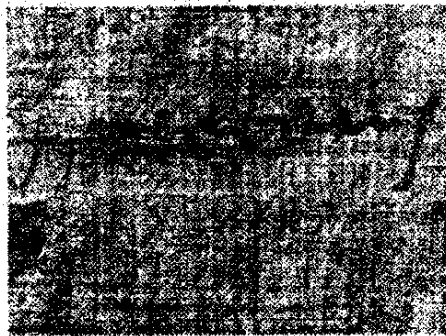
問10 下線部⑨の国について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 日本は、この国の結成後、革命の拡大を恐れて干渉戦争を開始した。
- ② アメリカ合衆国は、1930年代にこの国を承認した。
- ③ バルト3国は、この国の結成に加わった。
- ④ ルーマニアは、この国から独立した。

**第3問** 文字の発明は、人類の歴史において極めて大きな意義を持っている。文字をめぐる歴史や文化について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えよ。（配点 24）

A 下の写真は、①プトレマイオス朝エジプトの最後の女王クレオパトラが、前33年、ローマの軍人にあてたと推定される命令が記されたパピルス紙である。そこにはギリシャ文字で「そのように計らえ」と書かれている。②古代社会では様々な文字を書き記すために、いろいろな材料が用いられた。例えば、前6世紀末のアテネにおいて、のためにクレステネスの改革によって設けられた制度では、が投票に用いられた。



問1 下線部①の人物がエジプト女王であった時期のエジプトやローマの政治状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① オクタヴィアヌス、アントニウス、クラッススの間で、第2回三頭政治が行われた。
- ② ローマは、エジプトからシチリアを奪って属州とした。
- ③ ポンペイウスの後継者の地位をめぐる、オクタヴィアヌスとアントニウスの対立が深まった。
- ④ クレオパトラとアントニウスは、協力関係にあった。

問2 下線部②に関して、文字や文字記録について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ロゼッタ＝ストーンには、ギリシャ文字で書かれた部分がある。

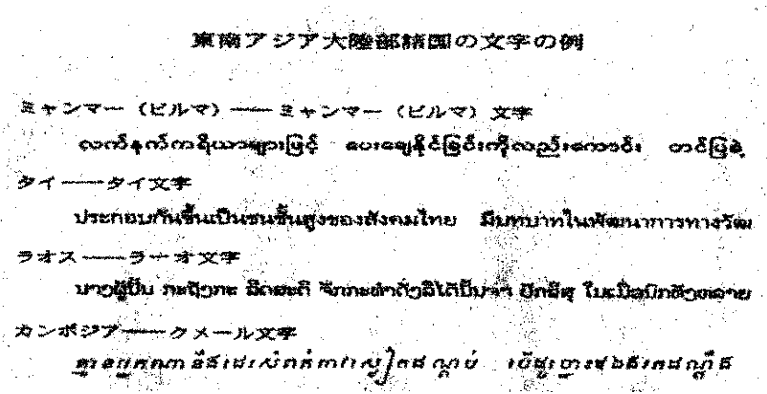


- ② 楔形文字は、主に粘土板に記されたが、碑文に用いられた例もある。
- ③ 「死者の書」はパピルス紙にアラム文字で書かれている。
- ④ インダス文字は、印章などに刻まれているが、未解読である。

問3 空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① a 僭主政の防止      b 銅板
- ② a 僭主政の防止      b 陶片
- ③ a 護民官の選挙      b 銅板
- ④ a 護民官の選挙      b 陶片

B 東南アジア大陸部の諸国では現在、ローマ字を用いるヴェトナムを除いて、それぞれ③独自の文字が国語の表記に使用されている（下図参照）。しかし、いずれの文字も南インドの文字の流れをくんで似通っており、東南アジアにおいてインド文化が摂取されたことを例証している。これらの文字の起源をたどると、④前3世紀のインドで既に使われていたブラーフミー文字にさかのぼることができる。南インドの文字は、⑤マレー半島を含む東南アジア島嶼部やヴェトナム中・南部にも伝わったが、これらの地域ではイスラム教が広まると、アラビア文字による表記が行われた。



問4 下線部③に関して、アジア各地で用いられてきた種々の文字について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① チベット文字は、インド文字を基につくられた。
- ② ウイグル文字は、遊牧民最古の文字である。
- ③ 訓民正音（ハングル）は、高麗時代につくられた。
- ④ 西夏文字は、モンゴル語を表すために考案された。

問5 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① ガウタマ = シッダールタが、仏教を興した。
- ② アショーカ王が、ダルマに基づく統治を目指した。
- ③ カニシカ (カニシヨカ) 王が、仏教を保護し、仏典の結集が行われた。
- ④ チャンドラグプタ 2 世が、北インド全域を支配した。

問 6 下線部⑤に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① マタラム王国は、ジャワにおける最後のヒンドゥー王国として栄えた。
- ② シャイレンドラ朝では、上座部仏教 (小乗仏教) が盛んであった。
- ③ マラッカ王国では、イスラム教が信仰された。
- ④ この地域におけるイスラム化は、フィリピン諸島南部から始まった。

C ローマ人の言語であった⑥ラテン語は、古代から中世初期にかけて成立したゲルマン系の諸部族国家でも、文章語として使用され続けた。西欧各地の人々が、日常的に話していた言葉を、ラテン文字で表記するのが頻繁になるのは、12・13世紀からであったと言われる。そのころになると、⑦各地に口頭で伝承されていた詩歌や物語などが、文字でつづられ固定化されるようになった。やがて、行政・司法などの公的な分野でも、⑧ラテン語以外の言葉で文書を作成する慣行が広まった。それらの言葉のうちから、近代国家の公用語となり、国民的文化の基礎となるものも現れた。⑨18・19世紀になると国民文学といわれるような作品が多数生み出されることになる。

問 7 下線部⑥に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① ヘシオドスは、農民の生活をうたった『仕事 (労働) と日々』を、ラテン語で著した。
- ② タキトゥスは、ローマ帝国末期のゲルマン人の社会生活を描いた『ガリア戦記』を、ラテン語で著した。
- ③ アラビア語の学術書がラテン語に翻訳され、中性ヨーロッパの学問に大きな影響を与えた。
- ④ ビザンツ帝国では、ラテン語が唯一の公用語として使用され続けた。

問 8 下線部⑦に関して、西欧世界における文芸について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 宮廷などで、吟遊詩人が武勲詩や騎士の恋愛詩を朗唱した。
- ② イタリアでは、ダンテがトスカナ地方の言葉で『神曲』を著述した。
- ③ イギリスでは、カール大帝とその武将の活躍を描いた『アーサー王物語』が成立した。
- ④ ゲルマン人の英雄伝説を基に、『ニーベルンゲンの歌』が成立した。

問9 下線部⑧に関連して、英語の成り立ちについて述べた次の文章中の空欄  に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

ブリテン島には、古代以来、諸民族が繰り返し侵入し、ゲルマン系の言語である英語は、長い年月にわたり様々な言語の影響を受けてきた。現代英語の語彙を語源別に分類してみると、ギリシア語やラテン語のほか、特に  語の影響が際立っている。 語が大量に流入したのは、11世紀後半に  から来た征服者が、イングランド国内に比較的強力な王権を確立した時期以降とされる。

- ① ドイツ      ② フランス      ③ デンマーク      ④ オランダ

問10 下線部⑨に関連して、18・19世紀におけるヨーロッパの文学について述べた文として波線部の正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 18世紀末から19世紀前半には、個性や感情の優位、歴史や民族文化の伝統を尊ぶ古典主義が盛んになった。
- ② 19世紀前半のドイツでは、革命詩人と呼ばれた ハイネが、『歌の本』などを著した。
- ③ 19世紀前半のロシアでは、ゴーリキーが代表作『オネーギン』などを発表して国民文学を打ち立てた。
- ④ 19世紀後半になると、市民社会の成熟、科学技術の急速な発展を背景として、ロマン主義が台頭してきた。

**第4問** 家族や親族のあり方は、地域や時代によって様々な姿を示す。歴史上の家族や親族について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 24)

A 中国では、宗族と呼ばれる親族集団が広く見られた。宗族とは、共通の祖先を持ち父系の血縁で結ばれていると考える人々によって組織された集団である。彼らは同じ姓を持ち、祖先祭祀や族譜(一族の家系記録)の編纂などの活動を行った。また、同じ姓の男性と①女性とは結婚できないという同姓不婚の原則があった。②宗族は古くから存在したが、決して常に変わることなく続いてきたわけではない。例えば、清代には人口の急増を背景に③中国周辺部への移住や開発が進展したが、流動的な移住民社会では、不安定な社会環境に対処するために、新たに宗族や同郷集団が形成されることがあった。

問1 下線部①に関連して、中国史上の女性をめぐる事柄について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 則天武后は、皇帝に即位し、国号を周と称した。
- ② 唐の玄宗は、楊貴妃を寵愛して黄巢の乱を招いた。
- ③ 東晋の王羲之は、宮廷女性への教訓を絵画化した「女史箴図」で知られている。
- ④ 太平天国は、女性に纏足を強制した。

問2 下線部②に関連して、西周から戦国時代にかけて宗族や家族について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 宗族は、宗法によって結束を図った。

- ② 宗族は、三長制によって国家の統制を受けた。
- ③ 儒家は、孝や悌といった家族道徳の実践を重視した。
- ④ 墨家は、家族を超えた博愛主義（兼愛）を主張した。

問3 下線部③に関連して、中国史上の移住や開発について述べた次の文 a と a の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

- a 東晋の時代、移住民が増えた江南では、開発が進んだ。
- b 明の時代を通じて、海外への移住が奨励された。

- ① a 正 b 正
- ② a 正 b 誤
- ③ a 誤 b 正
- ④ a 誤 b 誤

B インドの④ダルマシャーストラ 文献は、「合同家族」を基本的な家族形態として論じてきた。合同家族は、家産に権利を持つ、数世代に及ぶメンバーから成る父系の集団である。ただし、家長の下に複数の世帯が同居するような合同家族を理想としかつ実現したのは、主に上位カーストから成る富裕層であった。イギリス植民地時代、合同家族はヒンドゥー固有の家族形態として、⑤欧米の家族・両性関係 と対比されつつ、⑥民族主義的な立場 からしばしば称揚された。ヒンドゥーに限らず南アジアで一般に強調された家族の結び付きの強さは、⑦この地域から著名な女性政治家を生み出す要因の一つとなったとも考えられる。

問4 下線部④は、ヴァルナごとの行動規範などを示した文献の総称である。その中に含まれる文献の名として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 『ハムラビ法典』
- ② 『マハーバーラタ』
- ③ 『マヌ法典』
- ④ 『アヴェスター』

問5 下線部⑤に関連して、欧米の女性の権利や地位の変化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① アメリカ合衆国の女性参政権は、第二次世界大戦の後に出現した。
- ② イギリスでは産業革命期に、女性や子どもが、安価な労働力として工場で雇用された。
- ③ ローザ＝ルクセンブルクが、スパルタクス団の指導者として活躍した。
- ④ 第一次世界大戦中、欧米の参戦国の中には、女性の職場進出が進んだ国もあった。

問6 下線部⑥に関連して、南アジアの植民地支配や民族運動に関する次の出来事 a～c が、古いものから年代順に正しく配列されているものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 37

- a 非暴力・不服従運動の開始
- b 全インド＝ムスリム連盟の結成
- c ベンガル分割令の発布

- ① a b c
- ② a c b
- ③ b a c
- ④ b c a
- ⑤ c a b
- ⑥ c b a

問7 下線部⑦に関連して、南アジアの女性政治家の多くは、有力な政治家の妻や娘であり、例えばインディラ＝ガンディーは、インドの初代首相であった写真の人物（下図参照）の娘であった。写真の人物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 38



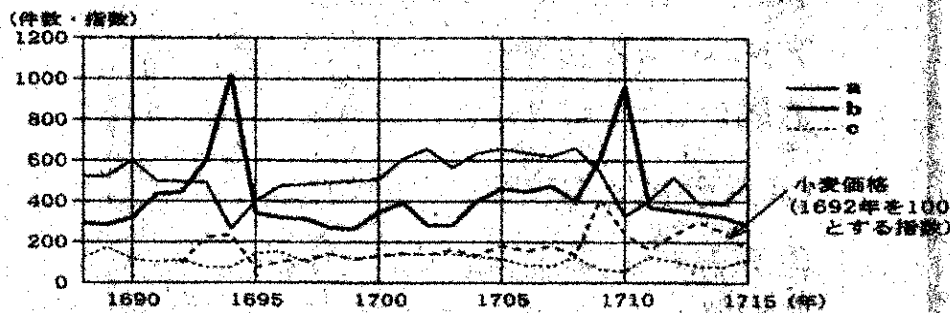
- ① 毛沢東とともに平和五原則を発表した。
- ② 首相在任中、中印国境紛争が起こった。
- ③ プールナ = スワラージ（完全独立）を要求する決議に反対した。
- ④ インド国民会議の創設に参加した。

C 今日では社会史の研究が進んで、近世フランスの庶民の生活も次第に明らかになってきた。この時代、生きることは容易でなかった。出産で女性が生命を失うことが少なくなかったし、乳幼児の死亡率も高く、半数しか20歳になれなかった。平年には出産数が死亡数を上回ったが、天候不順や⑧戦争による食糧事情の悪化、疫病の流行などのために、大量の死者を出す「人口の危機」に度々見舞われた。人々の約8割は⑩農民で、たいてい近隣の同じような境遇にある者と結婚したが、家族の生活はこのような厳しい生存の条件に制約されていた。

問8 下線部⑧に関連して、ヨーロッパにおける戦争をめぐる事柄について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 39

- ① ジャンヌ = ダルクが、ばら戦争で活躍した。
- ② ルイ13世が、ファルツ（継承）戦争を開始した。
- ③ 17世紀、英蘭戦争でイギリスが勝利した。
- ④ スペイン王位の継承問題から、イタリア統一戦争が起こった。

問9 下線部⑨に関連して、次のグラフはフランスのある地方の洗礼（出生）・結婚・埋葬の件数と小麦価格の指数を示したもので、「人口の危機」が2回あったことが分かる。折れ線a～cを示す語の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 40



- ① a 洗礼      b 結婚      c 埋葬
- ② a 洗礼      b 埋葬      c 結婚
- ③ a 結婚      b 埋葬      c 洗礼
- ④ a 結婚      b 洗礼      c 埋葬
- ⑤ a 埋葬      b 洗礼      c 結婚
- ⑥ a 埋葬      b 結婚      c 洗礼

問 10 下線部⑩に関連して，ヨーロッパの農民の生活に大きな影響を与えたと考えられる出来事について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 41

- ① 10世紀半ば，黒死病（ペスト）の大流行によって農村の労働力が不足し，農民の地位が向上した。
- ② 農業生産力が向上して村落共同体と都市が興隆し，11世紀から12世紀にかけて封建社会は崩壊した。
- ③ プロイセンでは，ヨーゼフ2世の治世下で農奴解放が行われた。
- ④ イギリスでは，第2次囲い込み運動で土地を失った農民が，新しい産業の労働力の供給源となった。